

日本放送協会 理事会議事録

(2020年 3月 9日開催分)

2020年 3月27日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

2020年 3月 9日(月) 午後3時30分～3時55分

<出席者>

前田会長、正籬副会長、木田専務理事、板野専務理事、
児野専務理事・技師長、荒木専務理事、松原理事、中田理事、
鈴木理事、松坂理事、坂本特別主幹

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

前田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 国際放送番組審議会委員の委嘱について
- (2) 経理規程の改正について

2 報告事項

- (1) 2020年度(令和2年度)各地方向け地域放送番組編集計画
および編成計画について
- (2) 放送番組審議会議事録(資料)

3 審議事項

(3) 第1349回経営委員会付議事項について

議事経過

1 審議事項

(1) 国際放送番組審議会委員の委嘱について (正籬副会長)

国際放送番組審議会委員の委嘱について、審議をお願いします。

阪田恭代氏（神田外語大学外国語学部教授）と村上由美子氏（経済協力開発機構〔OECD〕東京センター所長）に2020年4月1日付で新規委嘱したいと思います。また、同日付で、河野雅治氏（日本国政府代表・中東和平担当特使）と平子裕志氏（全日本空輸株式会社代表取締役社長）に再委嘱したいと思います。

なお、木山啓子氏（特定非営利活動法人JEN理事・事務局長）は、任期満了により、2月29日付で退任されました。また、神馬征峰氏（東京大学大学院医学系研究科教授）は、任期満了により3月31日付で退任されます。

本件が了承されれば、明日開催の第1349回経営委員会に諮ります。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、明日開催の第1349回経営委員会に諮ります。

(2) 経理規程の改正について (経理局)

経理規程の改正について、審議をお願いします。

放送法および放送法施行規則の改正に伴い、区分経理に関する条文の一部を「有料インターネット活用業務勘定」に名称変更、「国内放送番組等配信費」、「国際放送番組等配信費」の科目の新設等、所要の整備を行います。

本件が決定されれば、2020年4月1日付で施行します。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

2 報告事項

(1) 2020年度（令和2年度）各地方向け地域放送番組編集計画および編成計画について

(編成局)

「2020年度（令和2年度）各地方向け地域放送番組編集計画」と「2020年度（令和2年度）各地方向け地域放送番組編成計画」について報告します。

編集計画は、2020年2月開催の各地方放送番組審議会に諮問し、可とする旨の答申を得て決定したものです。各編集計画とも、1月15日に開催された第1345回経営委員会で議決を得た「2020年度（令和2年度）国内放送番組編集の基本計画」に基づき、それぞれの地域実情にあわせたきめ細かな地域放送の実施と、地域からの積極的な全国発信を行うことを主な内容としています。

編成計画については、それぞれの地域の編集計画に基づいて作成し、2月28日の放送総局編集会議での審議を経て決定しました。

各地方の編集計画および編成計画のポイントを説明します。

関東甲信越地方は、巨大台風や首都直下地震に備えて、取材・制作体制の整備を着実に進めます。東京オリンピック・パラリンピックでは、聖火リレーを生放送で盛り上げるほか、共生社会の理解促進に貢献するとともに、変貌する首都圏の姿や課題を掘り下げます。また、各区域放送の一層の充実、南関東3局と首都圏放送センターの取材・制作体制一体化によって発信力を強化します。さらに、首都圏独自のデジタル発信や4K・8Kなどに取り組み、情報の社会的基盤としての役割を果たします。宇都宮放送局では、毎月最終金曜日、FMの午後6時台で、地元にとことんこだわった地域密着情報を紹介する「夕暮れ とちのき堂」、千葉放送局では、木曜日と金曜日、FMの午前11時台に、地域で活躍する人々などを紹介することで地域を活気づけ、地域の課題を解決するヒントなども伝える「花ラジちば」をそれぞれ新設します。

近畿地方は、南海トラフ巨大地震へ備え、非常事態における本部代替機能を充実させます。多彩な魅力にあふれる地域の文化の豊かさや価値観の多様性を発信します。また、東京オリンピック・パラリンピックで活躍が期待されるアスリートや障害者スポーツを丁寧に紹介します。さ

らに、地域情報のインターネット発信に努め、より身近で役に立つ“公共メディア”を目指します。

中部地方は、多様な地域特性を踏まえた放送やサービスを充実させます。南海トラフ巨大地震などから命と暮らしを守る報道に全力で取り組みます。また、東京オリンピック・パラリンピックで活躍が期待されるアスリートを紹介します。さらに、中部の多彩な魅力を描く番組や「共生社会」など地域社会の変化を描く番組に取り組みます。

中国地方は、西日本豪雨災害の教訓を生かし、防災・減災につながる情報発信に日頃から尽力します。東京オリンピック・パラリンピックを目指す地元アスリートを紹介し、多様な価値観を認め合う「共生社会」に寄与します。また、被爆75年の節目、核兵器廃絶と平和への祈りをさまざまな手法で全国と世界に発信します。さらに、4K・8Kの番組制作を進め、BS4K・BS8Kの普及・発展に貢献します。

九州沖縄地方は、大規模災害の被災地を継続取材し、課題解決に向けたヒントを探り復興を支援します。戦後75年、長崎・沖縄などの戦争体験の記録と次世代への継承に取り組みます。また、東京オリンピック・パラリンピックに向けて地元選手や競技に関する情報を伝えます。さらに、地理・歴史的につながりの深いアジアに関わる情報を九州沖縄地方向けに伝えます。九州沖縄ブロックでFMの金曜日午後11時台に、九州沖縄の音楽シーンなどを豪華DJが紹介する「六本松サテライト」、北九州放送局では、毎月最終金曜日、ラジオ第1の午後0時台に、北九州や京築・筑豊地域の魅力や課題をとことん探る「きたきゅーラジオ」をそれぞれ新設します。

東北地方は、東日本大震災から10年目を迎え、“震災の記憶の伝承”につながる取り組みに力を注ぐとともに、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さまざまな情報を発信し“復興五輪”の機運を高めます。また、東日本大震災や台風19号を教訓にあらゆる手段で人々の生命・財産を守ります。さらに、各地域放送局の公開スペースを活用した番組や地域発ドラマなどで地域の活力となる放送局を目指します。東北ブロックで総合テレビの金曜日午後7時台に、オリンピックと東北の意外なつながりや話題を紹介する「みちのく 頂をめざして」を新設します。

北海道地方は、2018年の北海道胆振東部地震の教訓を生かし、多様な情報伝達手段を確保します。多様な存在・価値観を尊重する“共生・共存社会”の実現に貢献します。新札幌放送会館移転を機に地域の人々と連携を強め、“オープンジャーナリズム”を推進します。また、マラソン・競歩を開催する東京オリンピック・パラリンピックを通じ、北海道の魅力を世界に発信します。北海道ブロックで総合テレビの金曜日午後7時台に、北海道の進むべき道を見据え、「北海道の今って“どう？”」という内外の問いに答える、地域密着の番組「北海道道」を新設します。

四国地方は、四国を活気づける地域放送局を目指し、視聴者ニーズにあったサービスを効果的に組み合わせます。南海トラフ巨大地震と津波に備えるとともに、西日本豪雨被災地復興の動きも継続して伝えます。また、聖火リレーの模様やゆかりの選手・ホストタウンの動きなどを伝え、東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げます。さらに、四国応援プロジェクト「ハッとホッとずっと」キャンペーンを継続します。四国ブロックで、総合テレビの土曜日午前7時台に、地域のトレンドや新しい週末の楽しみ方などを伝える「ギュッと！四国」を、ラジオ第1の金曜日午後5時台に、「ホッと！四国」をそれぞれ新設します。さらに、総合テレビの午前11時台に「ひるどき四国」を新設し、月曜から木曜日は四国ブロック向けに、金曜日は各地域向けに放送します。

本件は、明日開催の第1349回経営委員会に報告します。

(2) 放送番組審議会議事録（資料）

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の2020年1月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営に関する情報」に掲載しています。

3 審議事項

- (3) 第1349回経営委員会付議事項について
(経営企画局)

明日開催される第1349回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、議決事項として、「国際放送番組審議会委員の委嘱について」です。また、報告事項として、「2020年度（令和2年度）各地方向け地域放送番組編集計画および編成計画について」と「経理規程の改正について」です。

（会 長） ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

2020年 3月24日

会 長 前 田 晃 伸